

新名神高速道路(城陽JCT・IC(仮称)～八幡JCT・IC(仮称)間)事業概要

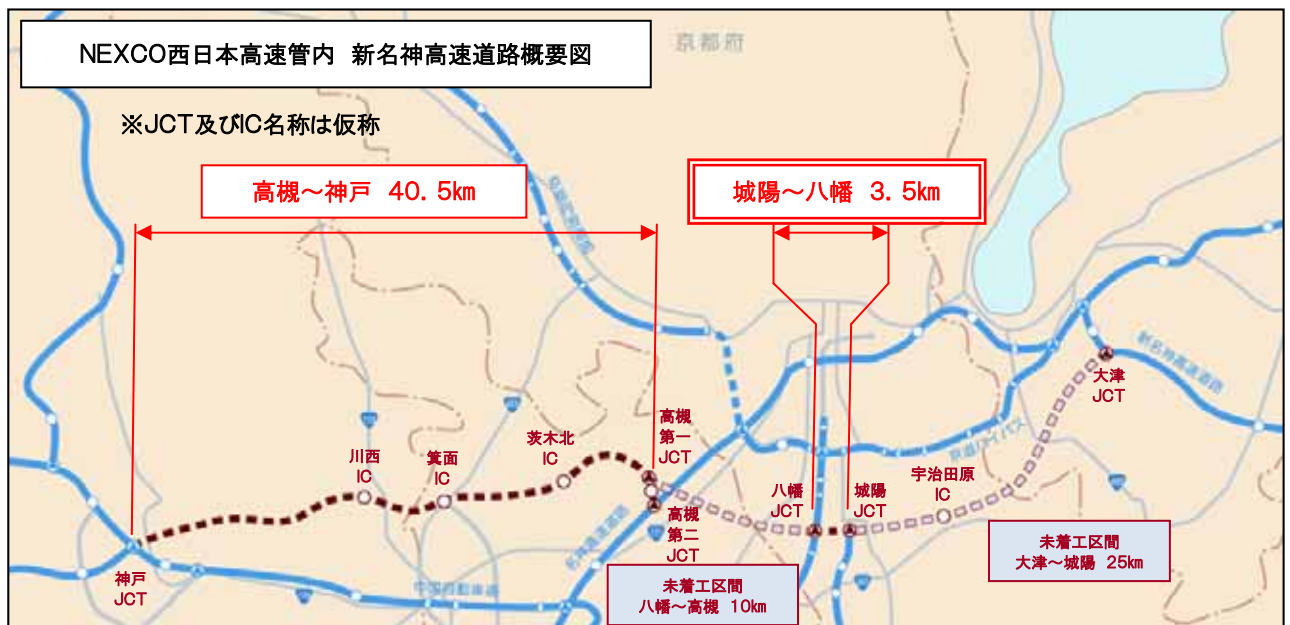
1. 概要

新名神高速道路(近畿自動車道 名古屋神戸線)は、愛知県名古屋市を起点に、愛知・三重・滋賀・京都・大阪・兵庫の各府県を結び、兵庫県神戸市に至る約174kmの高速自動車国道です。

新名神高速道路は、先発路線である名神高速道路との適切な交通機能分担を確保することで、名神高速道路の混雑を解消し、利用者サービスの向上に寄与することが期待されます。また、災害や事故などの緊急時や大規模補修工事による交通規制時には、名神高速道路と交互に代替機能を発揮して的確に交通分散を行うことを目指しています。

このたび工事着手する新名神高速道路(城陽～八幡間)は、第二京阪道路・京滋バイパスを介し、日本の大動脈である名神高速道路や京都縦貫自動車道と京奈道路が結ばれることで、関西高速道路ネットワークの強化が図られ、産業・観光・文化・社会経済の振興に貢献することが期待されています。

なお、新名神高速道路(城陽～八幡間)につきましては、平成8年12月27日に城陽市から高槻市までの間が整備計画決定され、平成9年12月25日に城陽市から八幡市までの間の施行命令を受け事業に着手しております。



2. 当該区間の路線概要

- 路線名 近畿自動車道 名古屋神戸線
- 区間 京都府城陽市寺田金尾 ～ 京都府八幡市美濃山荒坂
- 延長 3.5km
- 通過市町 城陽市・京田辺市・八幡市
- 設計速度 100km/h
- 車線数 暫定4車線

3. 当該区間の進捗状況(平成23年10月末現在)

- 幅杭設置率 100%
- 用地取得率 67%
- 工事着手率 3%